

週刊

児童室

ひともっこ 特別篇 vol.6

令和2年(2020年)8月6日刊

滋賀県立図書館 児童室

次号は8月13日刊行予定

新しくでた日本の絵本を紹介予定です

ひともっこ 特別篇は、7~9月の毎週木曜日に刊行予定です。

夏のおすすめ本

- その6 -



ひともっこ 特別篇 vol.6 (8月6日)

ピックアップ

新刊pickup 3

今回は知識の本

① 『絵でわかる建物の歴史 古代エジプトから現代の超高層ビル、

未来の火星基地まで』

エドゥアルド・アルタルリバ // 著ベルタ・バルディ・イ・ミラ // 著
伊藤史織 // 訳 中島智章 // 監修 エクスナレッジ 2020年4月刊

わたしたち人間は、太古からさまざまな建物とかかわり、暮らしてきました。世界には数え切れないほどの建築物がありますが、これらはいつ、誰がどのようにして作りあげてきたのでしょうか？ピラミッドから未来の火星基地まで、建物の歴史をイラストとともにたどっていきましょう。

建物の歴史だけでなく、構造の仕組みや建築家の仕事など、建物に関するたくさんのひみつを楽しく学ぶことができます。



② 『水害の大研究-なぜ起こる?』

どうそなえる?』

河田恵昭 // 監修

PHP 研究所 2020年7月刊



水害についての「なぜ」「どうする」が、1テーマずつ見開きで紹介されています。

例えば、なぜ日本で毎年のように大きな水害が起こるのかについて、気候・地形それぞれから、世界と比較したわかりやすい説明がのっています。

その他、「水害の種類」「堤防決壊のメカニズム」「大雨に関する天気予報の用語」など水害に関する必要な知識を身につけることができます。

ニュースを見て「怖い」で終わらせず、情報を正しく受け止め・備えるための本です。

③ 『あいうえおさん』



森絵都 // 文 荒井良二 // 絵

河出書房新社 2020年4月刊

人気の作家と絵本作家がいっしょになって、1冊まるごと、ことばあそびの本を作りました。「あ」から「わ」まで一文字ずつ、それぞれの文字を頭の音にした文章がたくさん詰まっています。思わずうなってしまう文から首をひねってしまうヘンテコな文まで、いつのまにかリズムに乗って声に出して読んでしまいます。

最後は、自分でも文を作ってしまいたくなる、不思議なみりよくのある本です。

だいまほうつか
-大魔法使いクレストマンシーシリーズ-

★シリーズ全7巻★

- ◆ 『魔法使いはだれだ』
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ // 作
野口絵美 // 訳 佐竹美保 // 絵
徳間書店 2001年8月刊
請求記号：7-92-ツ



- ◆ 『クリストファーの魔法の旅』
◆ 『魔女と暮らせば』
◆ 『トニーノの歌う魔法』
◆ 『魔法がいっぱい
大魔法使いクレストマンシー外伝』
◆ 『魔法の館にやとわれて』
◆ 『キャットと魔法の卵』

クレストマンシーとは、あらゆる世界における魔法の使われ方を監督する、大魔法使いの称号。魔法を巡る事件があるところ、つねにクレストマンシーは現れる！（※『魔法使いはだれだ』巻末紹介より引用）
一冊完結なので、どの本から読んでも楽しめるシリーズです。

まがたまさんぶさく
-勾玉三部作-

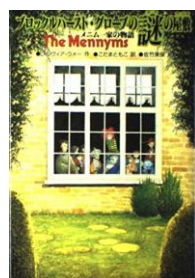
- ◆ 『空色勾玉』
荻原規子 // 作 福武書店 1988年8月刊
請求記号：J-91-オ
◆ 『白鳥異伝』
◆ 『薄紅天女』…※徳間書店から刊行

ひめ ぼうけん
-シェーラ姫の冒険シリーズ-

- ◆ 『シェーラ姫の冒険 上 愛蔵版』
村山早紀 // 著 童心社 2019年3月刊
請求記号：J-91-ム
◆ 『シェーラ姫の冒険 下 愛蔵版』

いっか ものがたり
-メニム一家の物語シリーズ-

- ★シリーズ全5巻★
◆ 『荒野のコーマス屋敷』
◆ 『屋敷の中のとらわれびと』
◆ 『北岸通りの骨董屋』
◆ 『丘の上の牧師館』



- ◆ 『ブロックルハースト・グローブの謎の屋敷』
シルヴィア・ウォー // 作 こだまともこ // 訳
佐竹美保 // 絵
講談社 1995年10月刊 請求記号：7-92-ツ

郊外に住むメニム一家は、なんと人間のふりをして生活している布製の人形の一家！
ある時届いた一通の手紙によって、平和だった日常が危険にさらされてしまいます…。